

交番のイメージ向上のためのツールとなるスーパーひーローの提案

戸張雄貴

指導教官 小出昌二

拓殖大学工学部 デザイン学科 視覚デザイン研究室

キーワード：交番・スーパーひーロー

研究の背景と目的

日本には交番制度がある。交番では警察官が交代で番をし、犯罪捜査、交通取り締まりや地域住民の困りごとの相談などの活動を行っている¹。

現在警察では交番の数を減らし、地域警察官の不在が常態化している「空き交番」を減らす運動を行なっている。しかし日本は警察官一人当たりの負担が多く、世界の平均の1000人当たり3人となっているが、1000人に2人と下回っている^{2,3}。地域に根ざした活動を維持する為にも交番制度は必要であり、大人や子どもにとって職業としての魅力を高める事も重要だと考えた。

そこで交番のスーパーひーローを制作する事を考えた。子どもにとっての憧れの存在で且つ、テレビ朝日のスーパーひーロータイムなどで見慣れている。なので安心感と親しみやすさが向上する効果が期待できると考えた。スーパーひーローが目の前に現れ、実際に触れる事で守ってくれると感じるからだ。役割としては小学校の交通マナー講座や薬物乱用防止教室などの講習に登場したり、他のイベントで犯罪防止や交通ルールを題材にしたヒーローショーを行うなどである。

ここで言うスーパーひーローの定義は人間が超人的な能力やアイテムを駆使し、悪役と戦うキャラクターの事を指す。さらにイベント等で活躍する為、等身大のヒーローとする。

研究の方法

1)警察、交番について特徴を調査する

2)既存のスーパーひーローについての種類や特徴を調査する。

3)盛り込む要素を設定し、アンケート用に数種類のデザインを制作する。

4)3で制作したものに対しどう印象を受けるかアンケートをとる

5)4で行なったアンケート結果をもとに数種類の案から選択し、デザインを修正する

6)立体的なモデルを制作する

7)出来上がったモデルを使用した冊子を作る

研究結果

スーパーひーローのマスクの特徴を調査した結果、日本の場合は全面を覆ったマスクが一番多く、マスクをしないキャラクターはおらず、目を露出するキャラクターは少なく、ほとんどがグラスなどで覆わっていた。アメリカの場合は偏りがなく様々なパターンがあった。なぜ日本でこのように全面が覆われたマスクが多いのか考えた結果、日本ではスーツによって力を得ているパワードスーツ型が多いようだった。パワードスーツとは強化外骨格と呼ばれ、人間が着ができる装甲のようなもので筋力を増強される。パワードスーツをしている例として近年の仮面ライダーやアイアンマンなどがあげられる。アメリカのキャラクターでは力の源は自身の特殊能力であることが多いようで、マスクは自身の正体を守る為やスーパーひーローとしてのシンボルの役割が多いと考えた。

今までの調査や予備知識を元にスーツのデザインを複数案考えた。大まかなコンセプトは近未来的なパワードスーツに設定した。理由としては

日本ではパワードスーツ型のスーパーヒーローが多いのでより親やすいと考えたからだ。いくつかのコンセプトからデザインを行い、アンケートのために制服、戦闘服、タイツスーツの3案を選んだ。



図1.制服、戦闘服、タイツスーツの3案

事前に考えた3案のスーツから受ける印象についてアンケートを行なった。質問事項は「かっこいいと言える、警察官らしい、スーパーヒーローらしい、既視感がある、印象に残る、親やすい、正義の味方らしい」の7つである。それらの質問をそれぞれ「①当てはまる、②少し当てはまる、③どちらでもない、④あまり当てはまらない、⑤当てはまらない」から選ぶ。以下の図は調査中の集計結果だ。上から順に「かっこいいと言える、警察官らしい、スーパーヒーローらしい、既視感がある、印象に残る、親しみやすい、正義の味方らしい」となっている。

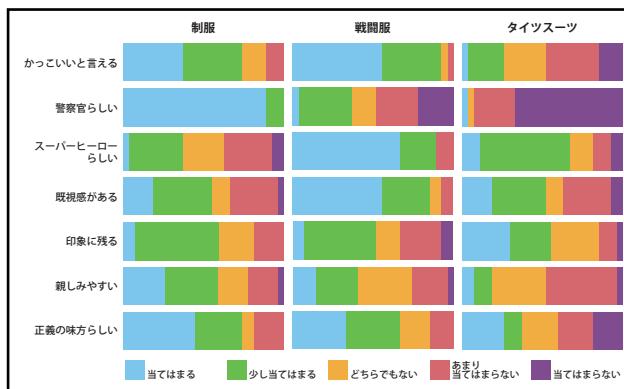


図2.アンケートの結果

アンケートの回答から考察した結果、「警察官らしい」が一番多い制服をベースにデザインを行なった。主に警察官の制帽を被ったようなヘルメットと胸のPOLICEのマークがそのような結果にさせたと考えた。さらに立体的なパーツが多いデザインの戦闘服のスーツが「スーパーヒーローらしい、既視感がある」とあるのでその要素も取り入れることにした。よりコミカルなイメージを与えるためスーツの彩度を高くした。

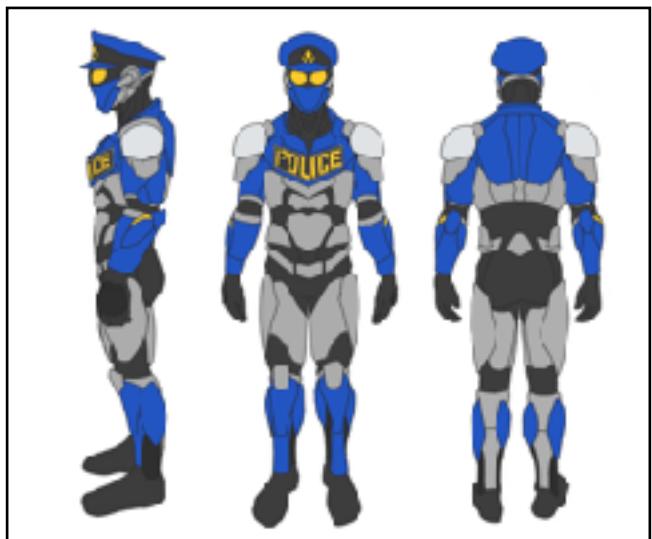


図3.決定デザイン

それらを基にしてスタイロフォームなどを加工しヘルメットから実物大のモデルを作り、最終的に180cmのマネキンが着用できるものを制作する。その後、スーツをマネキンに着用させ、交番などで撮影をし、アートブックを作成する。

参考文献

- 1) 「交番まめ知識 警視庁 - 東京都公式ホームページ」 → http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/smph/about_mpd/shokai/pipo/webpb/koban_qa.html
- 2) 「7 交番機能の強化」 → <https://www.npa.go.jp/hakusyo/h18/honbun/hakusho/h18/html/i2270000.html>
- 3) 「5 警察の体制 - 警察庁」 → <https://www.npa.go.jp/hakusyo/h17/hakusho/h17/html/G7000500.html>